



総合政策学部

学部長からの挨拶

学部長

今井 良幸

社会や企業に関心を持つ習慣を。
英語・数学も大切です。

ニュースに積極的に 目を向けよう。

総合政策学部では、国や地方自治体の公共部門や企業などの民間部門などにおいて、卒業後、学生が実現可能な形で立案（ポリシーデザイン）できるようになるために、政治学・法学・経済学・経営学などを基礎から総合的に学びます。こうした幅広い知識や理論を活用して、プロジェクト研究（ゼミ活動）に取り組むことで、自ら課題を発見し、その問題に取り組むための思考習慣を身につけることが総合政策学部の目標です。

ポリシーデザインの能力は、大学での学びだけでなく、日常生活の中でも育むことができます。たとえば、社会や企業で起こるさまざまな問題に関心を持ち、それに対して自分なりの考えをまとめるという取り組みを今から始めてみましょう。まずは新聞やテレビのニュースに積極的に目を向けるよう心がけてください。

Learning Point



数理的分析手法の習得と
グローバル化への対応のため、
数学と英語の継続的学習が
欠かせません。

総合政策学部では社会科学をさまざまな角度から学びますが、その上で統計的な分析手法が欠かせません。また、実社会では英語力の重要性がますます高まっています。総合政策学部では、「データ解析」や「キャリア・イングリッシュ」という科目を設けるなどして、実践的な統計分析教育や英語教育にも力を注いでいます。こうした学びの基礎を固めるために、入学までの期間に高校の数学・英語の継続的学修をしておいてほしいと思います。

※総合政策学部では、入学後授業開始日までに、授業のクラス分けのために習熟度テストを行う予定です。